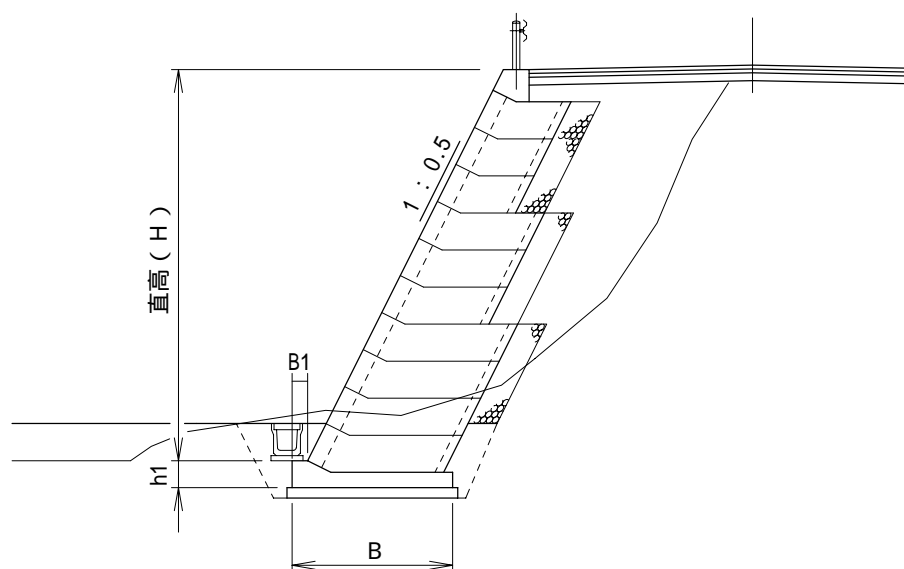


大型：エフロック積擁壁

- 胴込コンクリート -

施工マニュアル

設計例



もたれ式擁壁

平成18年 1月



株式会社 センコン

エブロック施工マニュアル

1 根切り用遣り方の設置

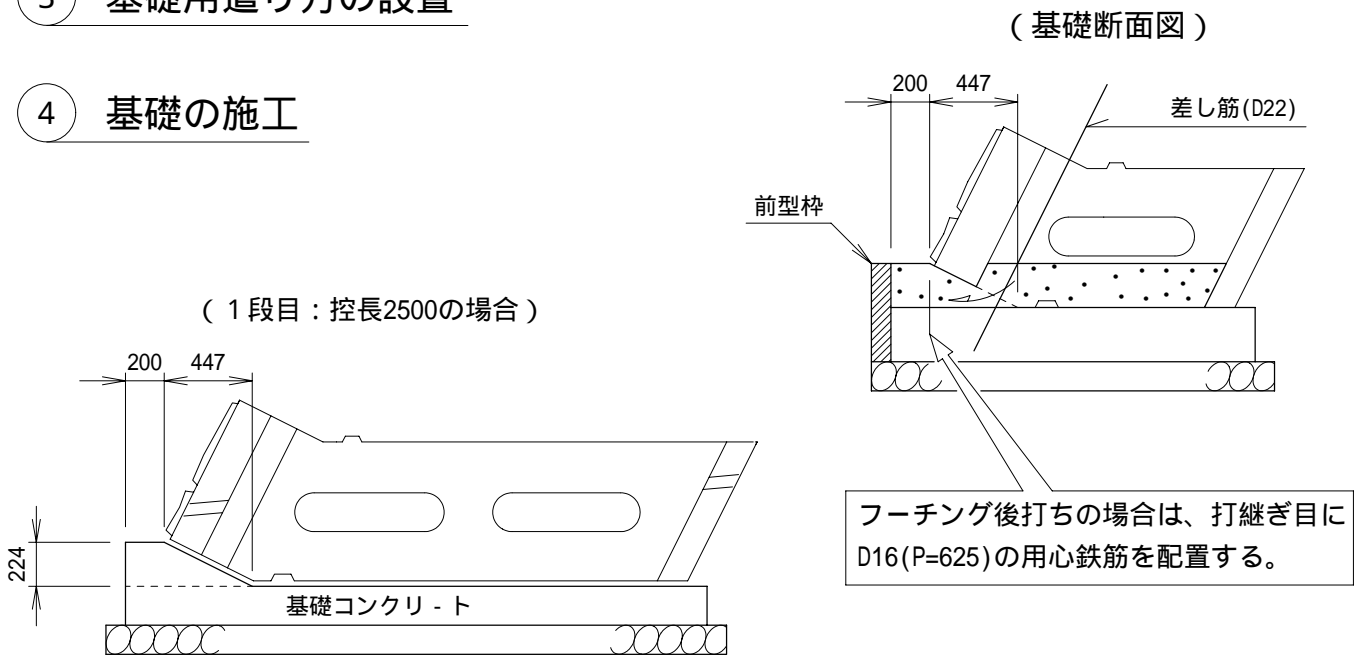
- 〔1〕遣り方は、設計書および他の工作物との関連を充分把握し、慎重な測量に基づき、境界線からの距離方向・角度などを確認して設置する。
- 〔2〕遣り方の標準間隔は10m程度とし、作業中移動したり高低が狂うことのないように設置する。必要に応じて検測用の仮ベンチを設ける。

2 根切りの施工

- 〔1〕掘削代は、基礎型枠等の基礎工事に支障のない程度に基礎の両側に余裕のある幅を確保しなければならない。ただし、擁壁背面側については必要最小限にとどめる。
- 〔2〕掘削に伴って周囲に悪影響（がけ面の崩壊、地盤の沈下等）が出ないように、掘削方法を選定する。
- 〔3〕壁背面に滑り面が生じにくいように表土は取り除き、必要に応じ段切り等の処置を施す。
- 〔4〕所定の掘削深さよりも掘りすぎた場合には、砂または砂利を突き固めて調整する。

3 基礎用遣り方の設置

4 基礎の施工

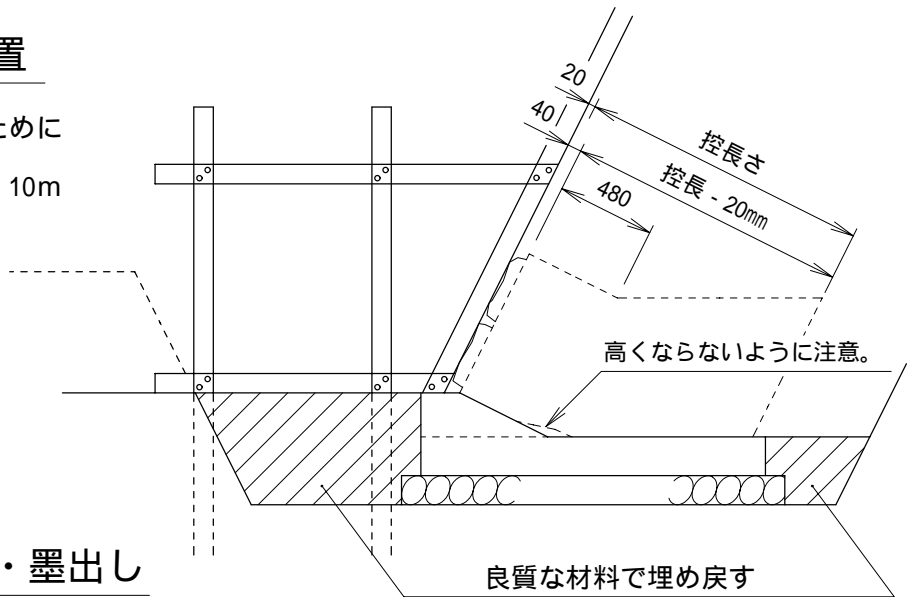


- 〔1〕基礎栗石などは、栗石に砂利等の目潰しを加え、ランマー等によって十分に突き固め、所定の高さに仕上げる。
- 〔2〕型枠寸法の正確さを期すために、5cm程度の均しコンクリート打設が望ましい。
- 〔3〕基礎コンクリートの設計基準強度は、 $c_k = 18 \text{ N/mm}^2$ 以上とする。
- 〔4〕基礎コンクリートは、所定厚まで定規で敷き均し、木ゴテ等によって仕上げを行う。この際ブロックに接する部分（上図の太線部分）は高くないように注意する。

エフロック施工マニュアル

5 据え付用遣り方の設置

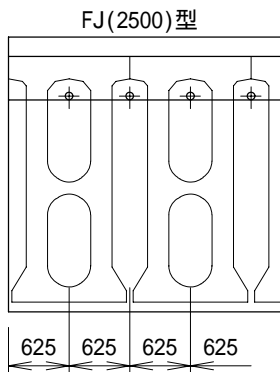
- 〔1〕製品の施工を正確に行うために
右図に示すような遣り方を、10m
程度の間隔で設置する。



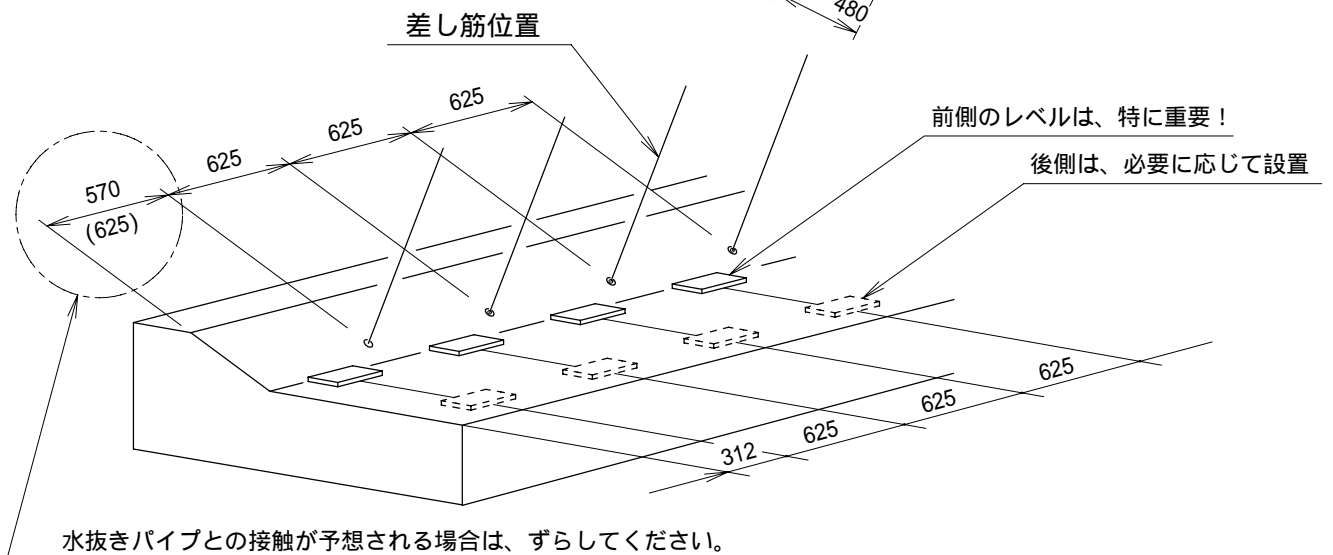
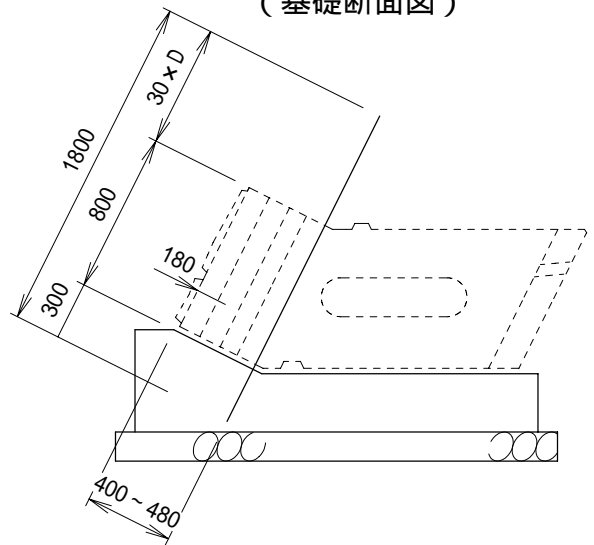
6 据え付け面のレベル・墨出し

- 〔1〕基礎表面に設計書に基づき、墨出しをする。
〔2〕差し筋立て込み用の孔（25～30）を開ける。
〔3〕据え付け面のレベル出しをする。安易にクサビ類に頼ると据え付けに手間取るので、固練りモルタルライナー等で事前にレベルを出した方が、重機代の節約にもつながる。

（基礎平面図）



（基礎断面図）

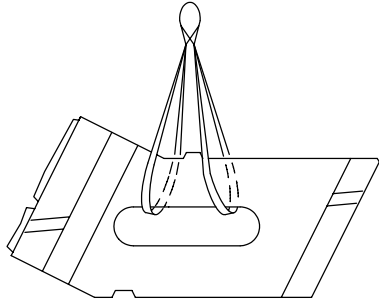


エブロック施工マニュアル

7 根石（1段目）の据え付け

〔1〕製品の荷降ろし、据え付けに使用する重機（クレーン）は、現場状況を考慮して適切な機種を選定し安全施工を第一とする。

〔2〕つり上げ方法は、製品重量に対応したベルトスリング（又はワイヤー）を用いる。



ベルトスリングの場合（参考）

1本の使用荷重：1.6t（ストレート吊りの場合）＝幅50mm

1本の使用荷重：2.5t（ストレート吊りの場合）＝幅75mm

ワイヤーの場合

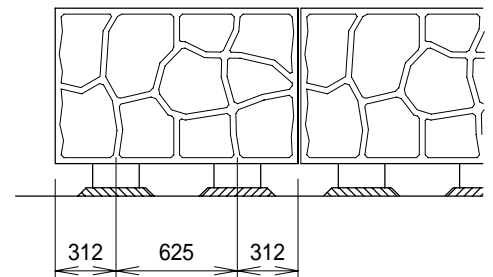
12mm以上のものを、製品重量に応じてご使用下さい。

《パール（大） - 2本，パール（小） - 1本，水平器，みず糸，くさび類》

〔3〕敷きモルタルを乱さないように静かに設置する。

〔4〕基礎と製品の接地面に空隙が生じないように、モルタルまたはコンクリートにて処理する。

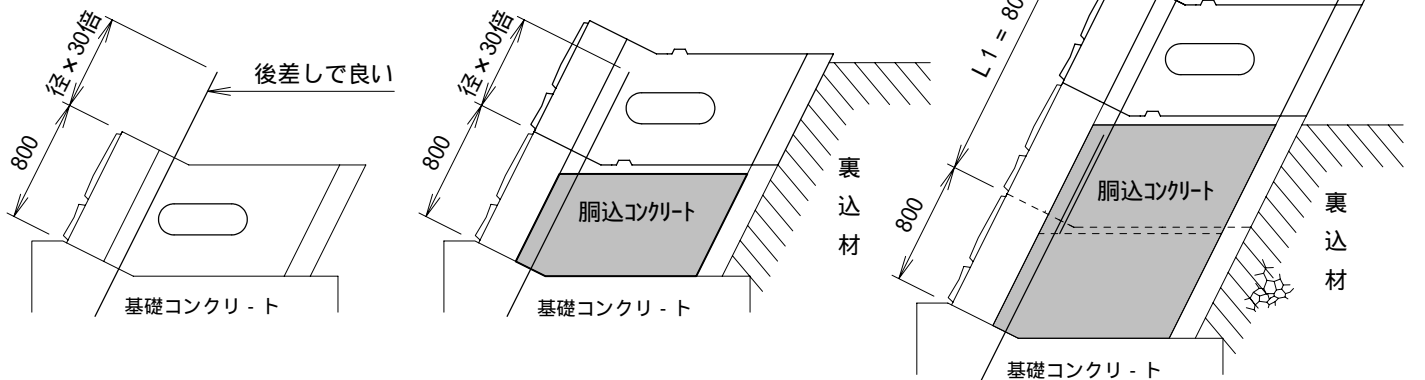
〔5〕通りおよび水平に注意しながら順次施工して行く。



8 2段目からの施工

〔1〕ブロックは1500型以下は二段、2000以上でも三段を超える空積みは避ける事。

〔2〕胴込め作業より裏込め作業を先行して行い、裏込め材の転圧締め固めは入念に行う。



9 透水層・水抜き孔の処置

〔1〕透水層は、裏込め土（埋め戻し土）の1回のみき出しに先行して、30cmを標準として順次施工する。

〔2〕浸透水を有効に排水するために、透水層の下端に5cm以上の止水コンクリートを打設した方が良い。

〔3〕胴込め材にコンクリートを用いる場合、水抜き孔にはパイプ(φ50)をセットする。

〔4〕胴込め砕石用のポスト孔（縦穴）には、コンクリートを詰めてください。

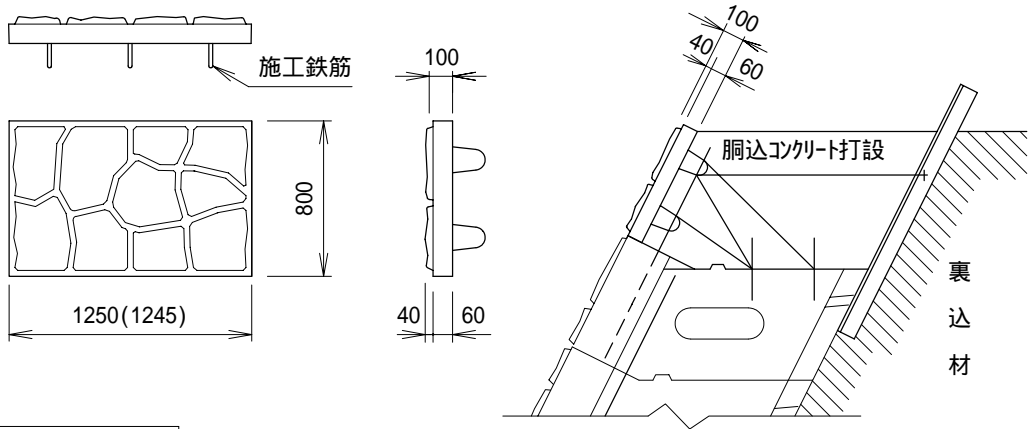
エフロック施工マニュアル

10 調整部の化粧板使用について

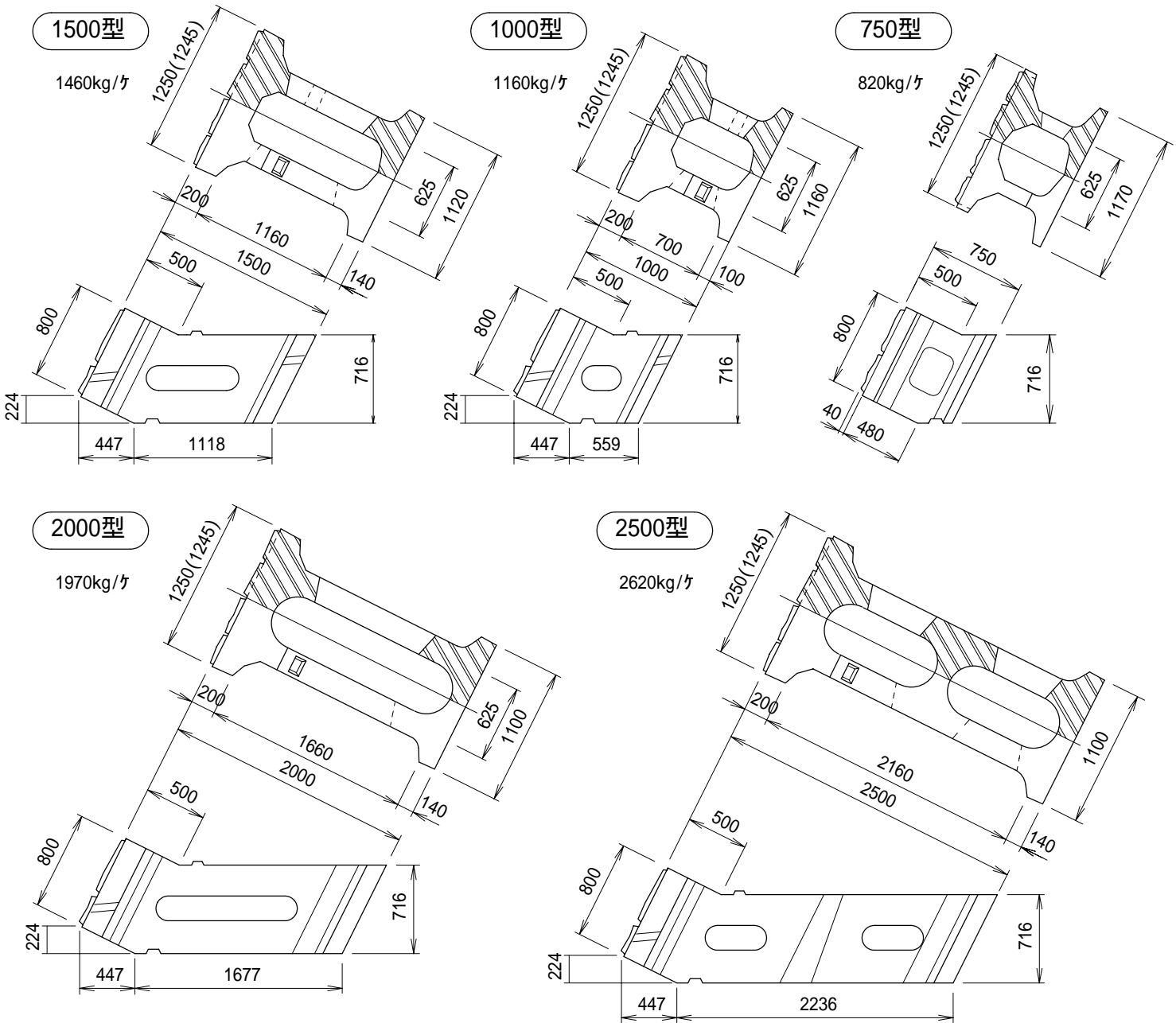
〔1〕 コーナー部、すり付け部等の表面に化粧板を使用すれば、きれいに仕上がります。

化粧板

235 kg / 枚



エフロックの形状.寸法





大型ブロック積擁壁：エフロック

<p>FM - A 1000型 1160kg/個</p>	<p>FB - A 1500型 1460kg/個</p>	
<p>FK - A 2000型 1970kg/個</p>	<p>FJ - A 2500型 2620kg/個</p>	
<p>FE - A 750型 820 kg/個</p>	<p>化粧板 200kg/枚</p> <p>天端・角切部の残存型枠(カットして使用)</p>	<p>C型：法長調整用</p> <p>呼び名：400×1250×控長</p> <p>呼び名：400×625×控長</p>

躯体工：材料表（法面10m²当たり）

注2：水抜きパイプは、2m²に一ヶ所で計算してあります。（VP-50）

呼び名	主要寸法 幅×高さ×控長	参考重量 (kg/個)	胴込コンクリートの場合				胴込砕石（鉄筋コンクリート結合形式）の場合		
			胴込コンクリート	鉄筋(D22)	間詰コンクリート	水抜きパイプ	胴込砕石	鉄筋(D22)	間詰コンクリート
FJ - A型 (FJ - 1/2)	1250 × 800 × 2500 (625 × 800 × 2500)	2620 (1310)	13.6 m ³	(ポスト鉄筋) 50 kg	0.2 m ³	14.0 m	13.6 m ³	(ポスト鉄筋) 50 kg	0.2 m ³
FK - A型 (FK - 1/2)	1250 × 800 × 2000 (625 × 800 × 2000)	1970 (985)	11.4 m ³			11.2 m	11.4 m ³		
FB - A型 (FB - 1/2)	1250 × 800 × 1500 (625 × 800 × 1500)	1460 (730)	8.4 m ³			8.4 m	8.4 m ³		
FM - A型 (FM - 1/2)	1250 × 800 × 1000 (625 × 800 × 1000)	1160 (580)	4.7 m ³			5.6 m	4.7 m ³		
FE - A型 (FE - 1/2)	1250 × 800 × 750 (625 × 800 × 750)	820 (410)	4.0 m ³			4.2 m	4.0 m ³		